

増田川に江戸川アユ放流 期待される美しい海産アユ

2008/05/01

(財)日本釣振興会、日本釣用品工業会関東支部群馬支部では、江戸川で捕獲された稚アユを碓氷川支流増田川へ放流しました。当日は早朝に葛飾大橋付近(千葉県松戸市)で江戸川漁協から稚アユ約 30kg(約 1 万尾)を受け取り、午前中に碓氷川支川増田川(安中市松井田町地内)に群馬県水産試験場の立会いのもとで、放流を行いました。

日本一のアユを取戻す会では、以前から江戸川からの天然遡上アユに注目しており、今回の放流に関して、江戸川漁協の情報提供や作業協力を行いました。放流された稚アユは、推定体重 3gr 程度と小さめですが、7 月以降になれば釣りの対象となりそうです。

昨年 10 月に沼田市内の鷺石橋付近で大型に育って釣れたアユは、DNA 鑑定等から、坂東漁協が利根川(渋川市浅田地区)に放流した江戸川のアユと断定しても良いとの結果が出ています。このことは、江戸川からの汲み上げ放流アユは、遡上性が極めて高いこと、アユ釣りできる期間が長いこと、冷たい利根川の過酷な環境下でも大型に育つことが確認されたと言えます。

今年の盛夏以降の増田川におけるアユ釣りが大いに期待されます。釣り人の皆さんには、冷水病対策を十分考慮した、“オトリ”の利用や、釣り具の管理をお願いしたいと思います。

【稚アユの積み込み状況】



【積みみを待つ元気な稚アユ】



【積みまれる稚アユ】



【江戸川】

葛飾大橋直上流左岸
この上下流の定置網で
稚アユを捕獲する。



【放流状況（1）】

地元の皆さんも協力。



【放流状況（2）】

放流直後から上流へ河床を
這うように遡上して行きます。
大きな群れとはならない。



【増田川はこんな川】

規模は小さいですが、瀬と淵
もあります。三紀層の岩盤の
露頭も見えます。災害復旧工事
が一部で行われています。
去年の台風9号で川がきれいにな
りました。



【約 1.1km 上流にある農業用水の
取水用固定堰】

魚道が設置されていますが、内部
が大きく破損し、機能しません。
災害復旧工事で直して頂きたい
ものです。

1100m × 5m = 5,500m²

1 m²に一匹の密度を考えると
今回は 2 倍の稚アユが放流された
こととなります。

なんとか、この魚道を一時的に
でも再生させたいものです。



【魚道を下流側から見る】

隔壁が破損

白い泡の高速流

魚道に集中する水の流れ



【魚道を上流側から見る】

下流端（上り口）は、応急工事で
砂礫で埋め戻された結果 OK.

魚道に入れる水量のコントロール
と土のう等による段差が必要か？
日常の管理を 2 週間くらい出来
れば、生息範囲が 2 倍の 2.2km に
広がりそうです。

